

## 戦略Ⅳ 研究開発領域の重点化

### シーズ創出研究委託

本県独自の技術シーズを創出するための公募型研究委託

#### 令和元年度採択テーマ

- マダイ種苗生産における仔魚の疾病（腹部膨満症）関連細菌の同定【早稲田大学ほか】 ⇒ <完了>
- キンメダイの飼育技術の構築【東京海洋大学ほか】
- 静岡県産魚類由来成分による失明疾患の制御に関する研究【慶応義塾大学ほか】
- 深海環境において生分解性を示すプラスチックの構造探索【東京工業大学ほか】
- 駿河湾由来のカロテノイド生産微生物の探索とサプリメント開発への応用【静岡県立大学ほか】

<R3年度  
完了>

#### 令和2年度採択テーマ

- 動画撮影とAI認識による駿河湾サクラエビ漁業支援システム開発【東海大学、静岡市海洋産業クラスター協議会ほか】
- 海洋細菌の持つ生理活性を利活用する研究【高知大学、国立感染症研究所】

#### 令和3年度採択テーマ

- サクラエビの初期生活史の解明および受精卵の凍結保存技術の開発【静岡大学、県水産・海洋技術研究所】
- 海洋環境ワイヤレスモニタリングのための微生物燃料電池の開発【東京工業大学、県工業技術研究所】

#### 令和4年度採択テーマ

- 低酸素応答制御機能を持つ静岡県産魚類由来成分の探索と疾患制御に関する研究【慶応義塾大学、静岡大学、県水産・海洋技術研究所】
- 内浦湾の環境モニタリングによるマアジのへい死メカニズムの解析【慶応義塾大学、(株)MizLinxほか】

#### 県直営研究

- ドウマンカニの完全養殖に向けた研究
- キンメダイの種苗生産における初期餌料の栄養学的・生化学的検討

9

## 戦略Ⅴ 産学官金連携による産業応用の推進

### マリンオープンイノベーション事業化促進助成

海洋生物資源を活用した新製品開発や革新的養殖技術開発等の取組への助成

#### 令和元年度採択テーマ

- 駿河湾から生まれた高保湿化粧水の開発【(株)GOLDBLUE、(株)Drシーバ】 ⇒ 事業化成果
- 鯖発酵調味料の製品化による特徴ある地域ブランド新製品開発【(株)岩清、焼津水産加工業協同組合】 ⇒ 事業化成果
- 浸透圧調節等を利用した安全で美味しいニジマスの養殖生産技術「味上げ」の開発とブランド化【柿島養鱈(株)、東京大学、(株)テクノスルガラボほか】 ⇒ <R4年度事業化予定>
- 電気分解を応用した魚介類の陸上養殖（閉鎖循環式）の高生産化に寄与する技術開発【イノベティブデザインテクノロジー(株)、東海大学ほか】
- 超高齢社会の課題である認知機能維持に寄与する機能性表示食品の開発事業【三生医薬(株)、はごろもフーズ(株)】

<R5年度  
事業化予定>

#### 令和2年度採択テーマ

- まぐろ頭未利用部位からのプロテオグリカン抽出技術の確立と化粧品開発【(株)Drシーバ、(株)女性イキイキカンパニー】 ⇒ <R4年度事業化予定>

#### 令和3年度採択テーマ

- 熱海沖で採取された海洋酵母が産生する新規カロテノイドの化粧品原料としての事業化【ケイ・アイ化成(株)、ビタミンC60バイオリサーチ(株)】

#### 令和4年度採択テーマ

- 海洋性素材による機能性表示食品の開発【焼津水産化学工業(株)】

10

海洋技術開発促進助成

マリンバイオの産業応用の基盤となる工学系・情報系の海洋技術開発への助成

令和2年度採択テーマ

- サーモン陸上養殖をより効率化できるセンサーデバイスの技術開発と陸上養殖技術の確立  
【日建リース工業、東海大学、(株)AmaterZ】 ⇒<R5年度事業化予定>

令和3年度採択テーマ

- 深海探査機「COEDO」および環境観測マイクロデバイスによる駿河湾海底環境・生態系モニタリング技術の開発  
【いであ(株)静岡営業所、東京工業大学、JAMSTEC】
- 安全装置付食品加工バンドソーの開発  
【(株)秋山機械、静岡大学、(株)エヌエスティー、県工業技術研究所】  
⇒<R4年度事業化予定>



令和4年度採択テーマ

- 海水からのマグネシウム・カルシウム回収とCO<sub>2</sub>固定化  
【アンヴァール(株)】
- 海底の精細な画像マップを生成する超小型AUVとデータ解析システムの開発  
【(株)FullDepth】

MaOIFS (フィージビリティ・スタディ)

県内企業の事業化の取組に踏み出す際の事業化可能性調査を支援

令和3年度採択テーマ

- 厄介者「ガンガゼ」の駆除と有効活用の研究  
【(株)魚健】
- 静岡茶×焼津鯉 新特産品開発プロジェクト  
【(株)南食品】
- ブルーカーボン事業 藻場分布調査、藻場再生観察  
【(株)未来創造部】
- 微生物カウンタの開発  
【(株)エヌエスティー】
- チョウザメの不可食部を利用するための商品試作開発と検証  
【函南ちょうざめ企業組合】



令和4年度採択テーマ

- 日本本州における海ぶどうの養殖事業  
【Rカンパニー(株)】
- IoTを活用した水質管理システム  
【(有)クリップソフト】
- マグロエラから抽出する機能性成分による腸内細菌叢を介した免疫抑制  
【(株)Dr.シーバ】
- アマモ由来多糖類分解菌のスクリーニングと海藻の低分子化技術開発  
【(株)396バイオ】

「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会」

海に関する実践活動を行う団体等と連携しながら様々な活動を実施。  
(237会員 8月末時点)



ごみ拾いSNS「ピリカ」の導入



フォトコンの開催



体験教室の開催



チリメンモンスター観察会

「静岡県美しく豊かな海保全基金」

海洋環境の保全や水産資源の回復に資する取組を強化するため、2022年3月に創設。総額2億円(県拠出1.5億円、寄附0.5億円)



ごみ拾い活動費の助成



水産資源の回復に向けた調査・研究



サガラメ種苗移植

海外への情報発信

韓国忠清南道が主催する国際フォーラム「環黄海フォーラム」に参加。「海の環境保全」をテーマにしたセッションで、本県の「マリンオープンイノベーションプロジェクト」及び「海洋プラスチックごみ防止6R県民運動」の取組について発表し、世界の自治体で連携した取組を呼びかけた。

【R4.8.3~4】



(左) 忠清南道金泰欽(キム・テフム) 知事表敬の様子(R4.8.3)  
(下) 環黄海フォーラムでのセッション参加の様子(R4.8.4)



国際コンベンションへの参加

横浜市で毎年開催されるバイオビジネスの展示会、セミナー、パートナーリングの国際イベント「Bio Japan2022」に出展。 【R4.10.12~14】



(上) ファルマバレープロジェクトの推進機関であるファルマバレーセンターとの共同出展の様子(R4.10.12)

(右) プレゼンテーションの様子(R4.10.13)



**（愛称）スルガベイ・シミュレータを活用した研究支援の実施**

駿河湾における生態系の保全及び持続的な利活用に関する研究を促進するため、「森は海の恋人」水の循環研究会（R1～3年度）で構築した、陸域から流入する栄養塩物質等と駿河湾における植物プランクトン生産量の関係性を推定する「（愛称）スルガベイ・シミュレータ」を活用した研究を募集し、研究支援を行う。

スルガベイ・シミュレータ全体イメージ



○ 支援内容

- ・ 海域モデル実行プログラムの貸与
- ・ 作成済みの実行プログラムに使用できる入出力データの貸与
- ・ 支援対象者が希望する陸域モデルによる解析結果の提供
- ・ 海域モデル実行プログラムの操作に関する技術的な相談対応

○ 応募状況

大学や県で研究を行う者から3件の申請  
 ※県で開催する審査会を経て、11月上旬に支援決定

○ 活用報告会（3月上旬予定）

支援対象者によるシミュレータの活用事例等の発表会を開催予定

※スルガベイ・シミュレータとは  
 国等が開発した2つのモデルを改良連結したシミュレーションモデル  
 土地利用状況や河川水・地下水の水量、栄養塩物質の含有量を再現する  
 「陸域モデル」、その計算結果を受けて海域の潮流や水質等を再現する  
 「海域モデル」によって構成される。

項目		R4	R5	R6	R7
知見 充実	スルガベイ・シミュレータの活 用促進	改良	スルガベイ・シミュレータの公開等（研究支援）		